



無理なのは…
私はあなた達
共に行け

…我えない…



こう…この時は
まだ…

あの人の言ふことと
まだ信じることは出来なかつた



あの日、私は
心の大樹を守るために、
ダーリヤ・タクイとの最後の
決戦に駆けひいた

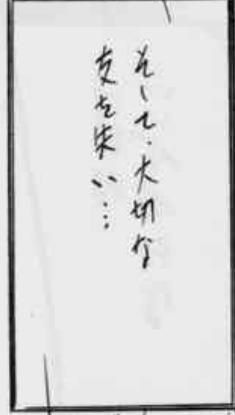
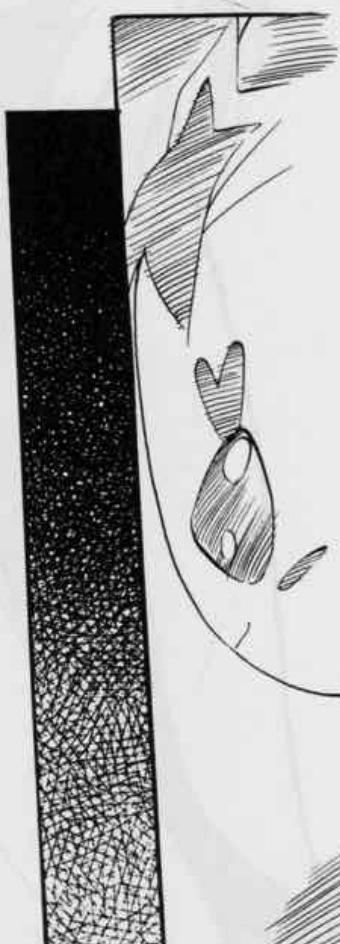
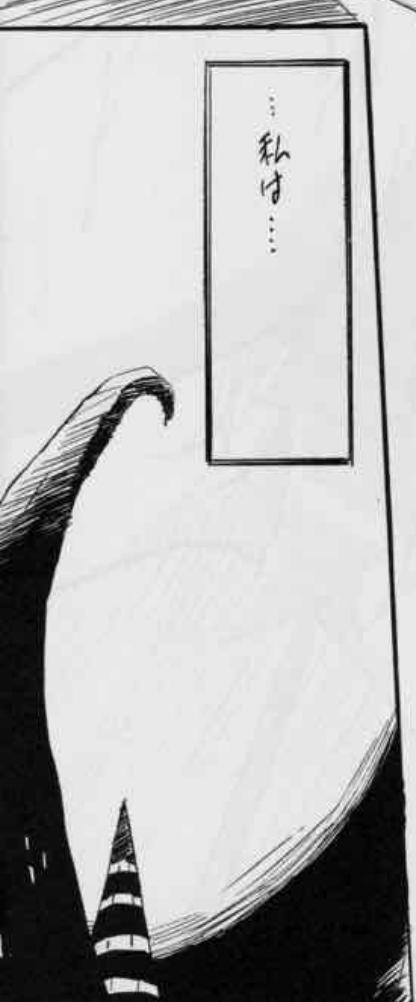
しかし、戦りの差は
埋められず、私は次第に
追いつめられていった。





私は

おじいちゃん
おじいさん



は

ははは
ハザマナ

トーライト!!

…殺すなら…
かと思ひに殺さなさい…

アーニーも簡単には
樂にはいかない

その前にたまごを
厚めてやるよ…やれ
ザガトライアン!!

な…何…

ああ…

アーニー…セーラー…コラボ…
触り放題や!!

やめやめ!!

今までゲットヨーゴーは
無視サレテキモカラナイ
ヤーフリカツアリ樂シンド
マジンダ!!

トコ
やだんな

はああ

ハハハ・ホホホカワニスズズ
オッパイモヤヨダヨダ
イイイイイイイイイイイ



あれじ、その
弱い所を

徹底的に責め抜かれて
やあよ：

時間はいくらか
あるからな

どうも、私を
ここまで憎むの？

やけああ

あう

く…

あ

ああ

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

あう

私はお前の
影じゃ外ない

お前ね、お嬢様

私はすこやかの物の
ままだ

けむからこのまへ

お前を貴重に扱ふる
ニヤリと諭され方こそ
なんだよ

なんなー

ああああ



「ええと、博士には
愛され方のほうは、私一人で
いい。」

じうだ、気合は
ヘーシライト!!

お前が代わりに私
可愛いやつらがるよ

力無く
当たる

魔術で
止まら

ええから
私け

多くのディザイナー達

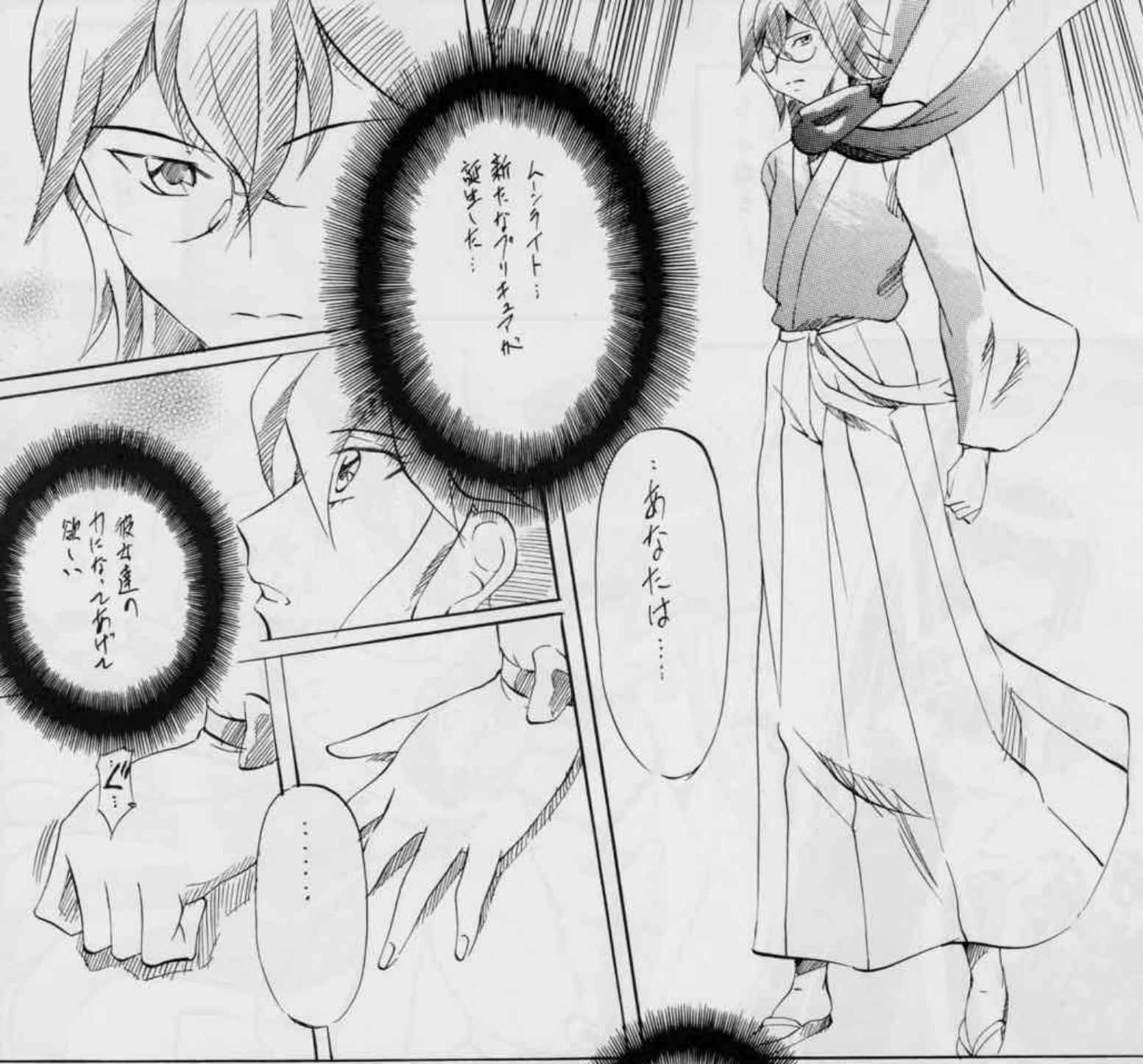
暗い地下の
魔のやじ

慰み物にならぬ日々
進むた

ただひたすらに
犯され続け…

ハート・セラピーセンタ
あきらめナシ!!





えれからず、
彼女達を見舞う
×た：

お、お詫びいた
今ならば、カリコ
分かる：

彼女達を載らんの先に
必ず光は見え方



キュア² ハート！

キュア²シリーズ一年振りの新作はムーンライト本です！ 正直、ネットで初めてハートキャラのキャラを見た時は戸惑いを隠せませんでしたわ：後でこれまでのストップと聞いて納得したのですが… 同人的には射程外かなと：（ただし、後にまた同人でも人気ショールトかな、という事を知りましたが…） しかし、第一話、ハート見知らぬお姉さんアリキュアが黒ハートキャラと戦っている…！にそれは予想外の衝撃でしたわ（…!!） とにかく私はこの番組開始までシークレットにされていたこの謎のアリキュアにす、カリ一目惚れ（…!!）その後、舞弓は現在へ… あ…あのアリキュアは何者だ、たのたろ？ もう出来ないのかな…やがて彼女は導入部のデモキャラ通過でかかって来たのかな…と少し寂しい思いをしました… 彼女の変身前の姿（じき）人物が登場してきました…！この時は、本当に嬉しかったですね： えいやこれはあのアリキュアの復活もあるのではと（…!!）（また、それほどまさか、四人目のアリキュア…！）この彼…だったとは思ひませんでしたわ：）そして3ヶ月ほりハートパンクシーンが…!!!これが目にした時はホント涙が出そうになりました！

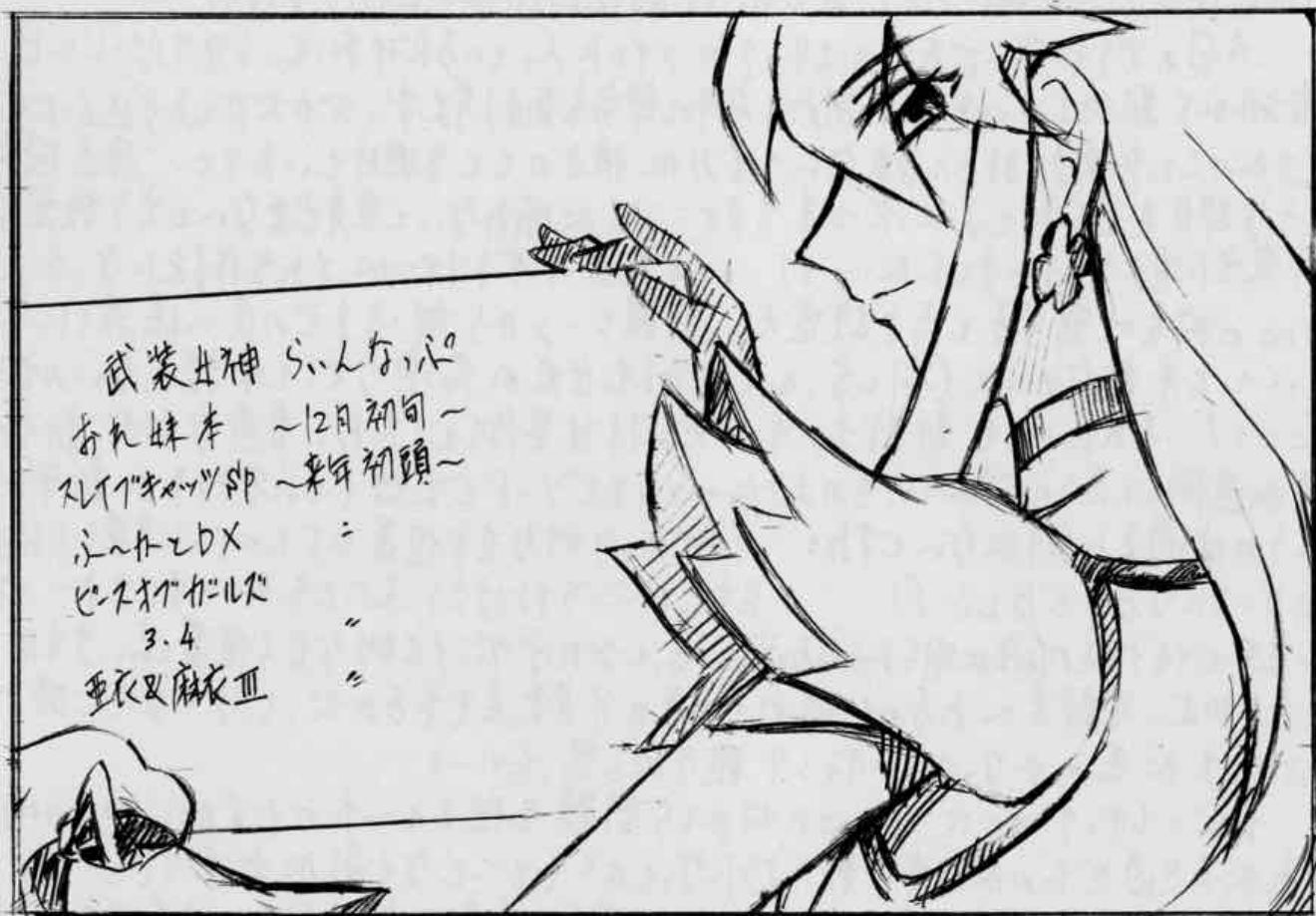
今回のアリキュア、どれかのストップがメインに入っているだけあって、ドラマパートには最初から期待していました。初めは相手の都合を考慮せず、ズカズカに入り込んでくるアリカのことをアリ好きになれるか、つづけられたりと、原点回帰のような部分を見られてよかったです（また、二人が揃わないと変身出来ないと言う設定はもう完全に消えてしまっていたな…：） それと、デザトリアンが、それを作品にならた人物の心の内を吐露すると言う設定も、戦闘シーンから解決までの良い橋渡しにな、へへへ上手だな…と（何と言、モヤモヤ史の名演なくしては語れないのですか…：） それにしても、新戦士のキャラセレクトは異例でしたわ：普通ならば“新キャラ”特徴過剰だと思いつつも、いつきのように一つのエピソードで完結して、るキャラが新戦士と言うのは過去に例がないですね： サイキャラ的な立ち位置からヒロインに昇華した初めてのケースにならのではと（…!!） ただ、ムーンライトはさうしたの上を行ってしまったわ： 向こう一話でアリキャラの存在が明らかになる…言ひければデザース的な立ち位置と高まする…それに加え、年齢差にあるのも初めて…その分年長差もあるので、やはり並んだ時のバランスが悪ハサウエエンディング観ながら思つたり…：

ただ…レギュラーメンバーは心に何かしら問題を抱えていたのですが、アリの場合、それに大き過ぎたのか、共に戦うようになつてからもじこじなく影があり（…また、私に言わせればそこが大きさが魅力なのです）：孤高の存在みたいな所が特徴ですね：

マンガのときはアリと言いますか…アリに敗れたあと、どうか、たのむ…何となく妄想して、いたことをそのまま絵にしてみましたと言う感じですね： ムーンライトのキャラもあれど、何となく空気が重たいのですが、いかんせん相手がデザトリアンだと緊張感が生まれないと言う： この点は反省（た）所ですね。 星形のデザトリアンにハリツケにされ万葉は、実はアーキューラー本やる予定があつたのですね、奈しくも同じ声優さんのキャラを使えたと言うだけ、勿体縁のようちものを感じます：（久川さんアーキューラーの後はムーンでアリ、ア…またどうでも…ですな…：）

そして、ムーンライトと言えば月。月のキーワードの絡みは少なめでせん。月の言う「お前は私だ」の言葉の意味はまだ分かりませんが、ムーンライトに対する好みでも慣れ親しみで、感情をぶつけようが感じが出せたらうと…。ムーンライトの復活と共に、おぼろげながら明かされたオバーワークの正体を考えれば、何となく月が何者なのかも推察は出来ると思へますね…左右逆になつて、ロゴのデザイン…黒、白、トーン…意味はつきません。

絵に閉じては、肉感的な表現は避け、少女マニアらしい「線の細さ」を意識しました。全体的な感じとしては、アイキャッチやカビで見られる、ビビンと線を引、張、たようなシャープなラインで描かれたあのイラストがスゴイカッコいいので、あの感じを目指しましたね。人気は3人娘、とりわけサンシャインに集中しているようですが、数少ない、ムーンライトファンの方達の為に描きました。気に入ってくれれば幸いです。



奥付

(発行日)

22年 11月 5日

(発行)

太陽出版株式会社

(著)

神無月 トム（サトル武装女神）

Busou MEGAI

